

20××年予測 カナダの豚:と畜、生産、輸出ともに前年並み～FAS～

	〔豚生体推移〕 1千頭、*推定、予測		
	20××	20××	20××
年初飼育	12,610	12,955	13,281
成雌飼育	1,188	1,193	1,198
生産子豚	27,359	27,400	27,700
輸入	1	1	1
供給総頭数	39,970	40,356	40,982
輸出	4,752	4,650	4,750
と畜計	20,922	20,900	21,000
損失	1,341	1,525	1,500
年末飼育	12,955	13,281	13,732

	〔豚肉需給推移〕 1千ト、枝肉換算 *推定、予測		
	20××	20××	20××
年初在庫	67	58	55
生産量	1,819	1,820	1,825
輸入量	220	205	205
供給総量	2,106	2,083	2,085
輸出量	1,245	1,245	1,250
人間消費	803	783	785
年末在庫	58	55	50

カナダ豚肉輸出(各年1-6月、枝肉重量、単位:ト)			
	20××	20××	20××
日本	177,830	191,514	194,374
中国	118,716	105,533	114,243
ロシア	124,921	50,438	102,601
メキシコ	38,813	69,156	51,830
韓国	18,834	29,183	33,418
台湾	37,716	28,031	20,202
フィリピン	10,749	18,851	17,744
豪州	17,396	22,394	16,923
香港	21,651	18,219	12,346
コロンビア	6,932	6,434	6,415
NZ	2,715	6,573	6,312
その他	4,006	4,883	3,841
計	33,003	59,072	28,801
	613,282	610,281	609,050

農務省の海外農業局（FAS）によれば、カナダの豚業界は安定しており、20××年は多少成長しそうだ。

20××年1月1日の豚総飼育頭数は現在のところ、2.5%増に、雌豚は0.4%増となる見通し。

カナダ統計局のデータによれば、総飼育頭数と雌豚の飼育頭数は20××年1月1日、7月とも前年を上回っており、20××年下半期は生産者の分娩雌豚予定も増加している。

20××年、高い豚価で利益は、かなり改善したが、生産者はまだ、飼育頭数の拡大に意欲を見せていない。多くの生産者は、収入増を施設の改善、改良、負債の返済に充てようとしており、財政的な安定を求めている。一方、いまだに財政難の生産者も多い。

20××年の豚生体輸出は2%増の475万頭と見込まれている。いまだに生体供給は不足しているが、米での飼料コスト安と豚価高で、素豚輸出が増加しそうだ。

20××年の生産子豚は1%増の2千770万頭で、昨年同様、輸出と国内のと畜用でシェアされると見られている。米への素豚輸出の主要供給地域はカナダ西部。一部のパッカーはと畜用生体不足で、通常のと畜頭数を維持できないでいる。生体の供給不足を補おうと、一貫生産へと移行するパッカーもある。

マニトバ州では厳しい環境基準からの悪影響を受けており、飼育頭数拡大を阻む要因となっている。マニトバ州での飼育頭数を補うため、サスカチュワン南部では生体生産増のための投資が行われている。国内での飼育キャパシティが限られているが、豚価高のため、多くの素豚は米へと輸出されている。

20××年の豚肉生産は0.3%（5千ト）増の182万5千トとなる見込み。枝肉重量は前年並みだが、と畜頭数が0.5%増の2千100万頭になることが、生産増予測の背景。

消費者レポートによれば、昨年夏以降、豚肉に対する需要は高まり続けている。食肉の小売価格が高いが、豚肉は比較的廉価で、多くの

消費者は牛肉や家禽から豚肉へとシフトしている。

20××年の豚肉一人当たりの消費は前年並みの20.5^{キロ}となる見通し。

カナダ産豚肉の2/3は輸出されており、業界は国外市場に依存している。

世界での需要高が継続しており、カナダ^{ドル}安も続くと見られているため、20××年の豚肉輸出は0.4%増の125万トとなる見通し。豚肉など多くの食品をロシアは禁輸したが、ロシア以外の輸出先を見つけるのはそれほど難しくないため、カナダの輸出に大きな影響は出ないと見られている。ロシアの禁輸分は旧ソ連などへ向けられることになりそうだ。

日本は米に次ぎ輸出先第2位で、輸出シェアを拡大している。メキシコやアジア諸国への輸出も拡大している。

韓米FTAの締結で、米産豚肉の価格競争力が増したため、カナダ産豚肉の対韓輸出は減少し続けている。しかし、2014年にはカナダと韓国の貿易協定が締結され、ここ数年で失ったシェアを回復し始めるかもしれない。

20××年の豚肉輸入は前年と変わらず、20万5千トとなる見通し。主要供給国は米で、マーケットシェアは90%以上。20××年もカナダ^{ドル}安が続くと見られており、これが輸入増の要因となりそうだ。国内生産が増加しているが、それでも供給が不足しており、輸入が必要となる。